

1 大崎地区(東部ブロック)職業教育拠点校の校名案

おおさき そうせい
(仮称) 宮城県大崎創成高等学校



【選定理由】

「大崎」は、新しい学校の所在地を示し、「創成」は、再編対象校の松山高等学校・鹿島台商業高等学校・南郷高等学校の学びを継承し、これからの社会に必要な専門的な知識や技術を身に付け、地域社会の活性化に貢献できる人材を育成するという意味が込められている。

また、専門科目で「農業・家庭・商業」の各分野を学ぶことができ、「食」をテーマとする専門教育を展開し、社会的・職業的自立に必要な能力を持った生徒を育成することを目的とする学校の特色を表している。

2 基本理念

「食」をテーマとした様々な職業専門的な学びを展開

3 学校の概要

- 学科名称 (仮称) アグリ・フード・ビジネス科
- 募集定員 160名 (一括募集)
- 設置課程 全日制課程・単位制
- 設置場所 鹿島台商業高校の敷地内に新築

※松山高校・鹿島台商業高校・南郷高校は令和9年度に募集を停止し、令和10年度末で閉校



4 学びの内容と特色

学びの内容

食

をテーマとした専門的な学びを展開

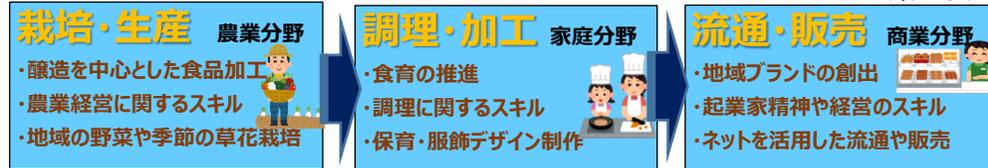
- 専門科目で「農業・家庭・商業」の各分野を学べます。
- 1つの学校で生産から販売までの「6次産業化」を学べます。
- 「高校生カフェ」の企画・運営を学べます。

学びの特色

進

路希望に合わせて学びを選択

<イメージ>



充実した施設・設備環境の中で体系的な学びを実現!

- 多彩な学校設定教科・科目の設置
- 単位制により少人数指導による効果的な学習
- 多様化する生徒へのサポート体制の充実
- 多様な資格取得による進路指導の充実

**個別最適
な学び**

**協働的
な学び**

- 地域や企業等と連携したカフェ運営
- 高校間・異校種間連携
- 農業×家庭×商業の連携による探究学習の充実
- 産官学連携による地域ブランドの創出

**体験的
な学び**

- 「育てる・つくる・売る」などの体験学習
- 生きた知識・技術を習得



- 世界農業遺産大崎耕土に関する学習
- 世代間交流による体験学習



(仮称) 大崎創成高等学校の概要について

学校設定教科・科目

(科目名は仮称、一部を抜粋)

学校設定教科「6次産業化」

農業・家庭・商業を学び、それを組み合わせた授業を展開

6次産業化について学ぶための多様な学校設定科目

○ 6次産業化学

6次産業化の基礎となる「家庭×商業」を学ぶ

○ 6次産業化研究

各専門分野の基礎と6次産業化の実例を学び、3分野からテーマを選び探究活動を実践する

○ 大崎耕土学

世界農業遺産に認定された大崎耕土の「農業」の歴史・伝統を学ぶ

○ 醸造

発酵食品製造の成り立ちや、醸造食品製造における知識・技能を学ぶ

○ Farm to Table I、Farm to Table II

洋菓子の調理や、パンなどの軽食実習を行う

○ 食文化実習

郷土料理や漬物など、地域の食文化について実習を通して学ぶ

○ キャリア探究

地元企業と連携し、起業家マインドや経営のノウハウを学ぶ

○ 地域ビジネスプランニング

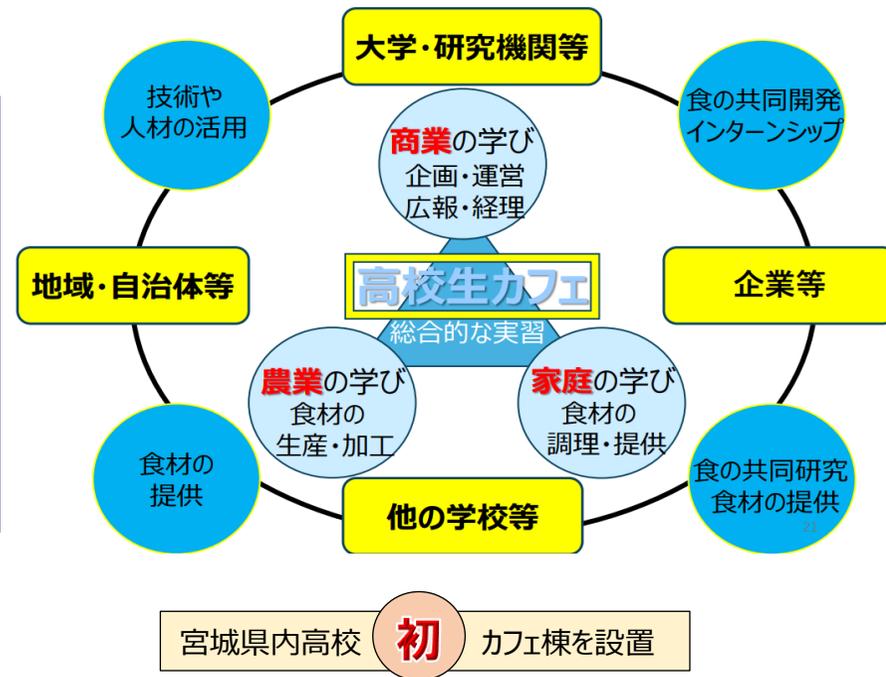
地域と連携し、ビジネスの視点から地域課題を解決に向けた活動を行う



高校生カフェ

- 各専門分野の学びを生かしながら、**生徒が企画・運営**等にあたります。
- 定期的に外部に対して**食の提供**を行います。
- 地域の食材や他校の生産品も活用しながら魅力ある**食の開発・提供**を行います。
- 他の高校や地域と連携し、**交流の場**としての活用も検討します。

高校生カフェの連携体系



<カフェ棟正面のイメージ>



<カフェ棟内部のイメージ>

